



H A T U R A T U
はつらつ

「ハイ! (こんにちは)」。私の住むオーストラリアのシドニーは、とても美しい港町よ。足をけがしちゃったけど、今日は天気がいいので車いすで散歩。お母さんや友だちがいっしょだから、楽しくて幸せ! 公共施設は体に障害をもっている人にもやさしいバリアフリー。車いすでも自由におでかけできるんだ。

港の向こう岸には、大好きなコアラやカンガルーがいる動物園があるの。私もフェリー(ボート)に乗って、会いに行きたいなあ。

(写真・文 平早 勉)

昔遊びのおもしろさ再発見!

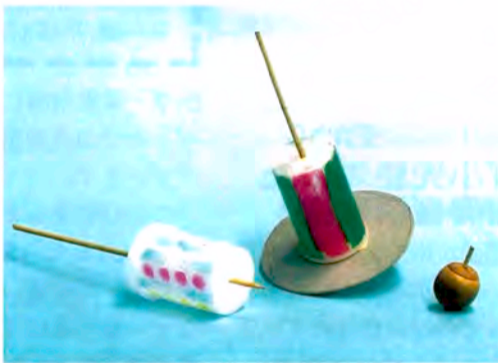
【こどもの城】の冬休み特別期間は12月21日~1月7日(12月28日~1月2日は年末年始のため休館。1月3日は午後0時30分開館)。開館時間は、午前10時~午後5時30分。体も心もあたたまる「ホット」なくあそびがいろいろ。そのなかから、昔遊びのおもしろさを再発見する「新春昔あそびつくってあそんでお正月」と「世界スポーツめぐり(日本・アジア編)相撲! こどもの城場所」を紹介しします。

新春あそび つくってあそんでお正月

遊び方を工夫したり、考えたり—遊びを「つくる」楽しさがあります

昔遊び—大人にとっては、子どものころのなつかしい遊びかもしれませんが、子どもにとっては初めての体験する「新しい遊び」。今回は、こま回し、三つ馬、かんぼっくり、紙相撲などを取り上げます。

昔遊びには、コンピュータゲームのようなかっこよさはないかもしれませんが、自分なりの遊び方を考えたり、工夫したり、くりかえし練習すれば今までできなかったことができるようになったり—それぞれにあった遊びを「つくる」という、おもしろさがあります。

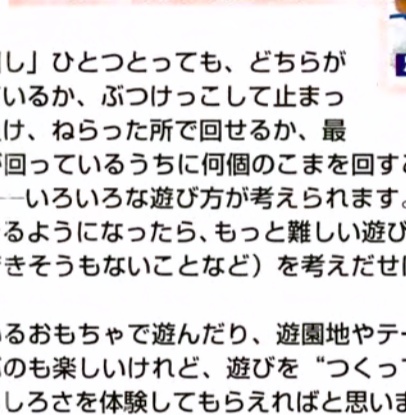


木の実やフィルムケースでこま作り

屋上遊園には、三つ馬やかんぼっくりなどの遊び道具が用意してあります。いろいろな遊び方、おもしろい遊び方を「つくって・あそんで」ください。

Bスタジオでは、フィルムケースや木の実を使ったこま(写真右)、紙相撲の力士を作って遊びます。遊び道具も、遊び方も「つくって・あそぶ」プログラムです。

「すもう」いろいろ



世界スポーツめぐり(日本・アジア編) 相撲! こどもの城場所

体全体の力を出して遊ぶ、いろいろな「すもう」

日本の国技といわれる相撲。昭和30年代ぐらいまでは、見るだけでなく、子どもたち自身も相撲を取って遊んでいました。地面に土俵となる円を描けばすぐ遊べる、手軽にできる遊びの一つでした。

少くらの力でおされたり、引っ張られたりしても、びくともしないように、ひざを少しまげてこしを落としたり、どっしりとふんばる力が必要な遊びでした。サッカーやバスケットボールなどのような、スピードが必要なスポーツとは、少し違った体の使い方です。

重いものを持ち上げるときに、ひざをのばしたまま前かがみになって、上半身の力だけで持ち上げようとする人がいます。これでは持ち上がりません。ひざをまげてこしを落とし、下半身の力を生かせば、もっとらくに持ち上げることができます。ところが、こういう体の使い方が苦手になってしまったようです。

「こどもの城場所」では、体全体の力を出して遊ぶ、いろいろな「すもう」を取り上げます。うで相撲、けんけん相撲、しり相撲、足相撲など、体のいろいろな部分を使った相撲をします。勝つこともあれば、負けることもあります。なかには、うで相撲は苦手だけど足相撲ならまかせておけ、という人もいます。いろいろな「すもう」にチャレンジしてみてください。

1~3月の小・中学生向けプログラム

「ちょっと高度な遊び」を楽しんでもらおうと、【こどもの城】では毎週土曜日に「小・中学生向けプログラム」をいっぱい用意しています。スポーツ、造形、音楽、科学・映像など、さまざまな遊びがあります。楽しい・おもしろい遊びだけでなく、たいへんだけどできたときの気分が最高という遊び、みんなといっしょに何かしたことがよかったという遊び—遊び方も楽しみ方もいろいろ。1~3月のプログラム(都合により変更する場合もあります)を紹介します。

サタデーラボラトリー 想像力と創造力をはたかせて、いろいろな遊びにチャレンジ。なぜだろう? なるほど! 不思議な遊びがいっぱい。

1月18日=混虫(まぜむし)工場スペシャル
25日=クイズ100問答えてラリー

2月 1日=青山劇場バックステージツアー (特別プログラム・予定)
8日=君の絵がぐるぐる動く!! 「驚き盤」を作ろう
15日=あったかいぞ!! カイロを作ろう
22日=混虫(まぜむし)工場スペシャル

3月 1日=あったかいぞ!! カイロを作ろう
8日=君の絵がぐるぐる動く!! 「驚き盤」を作ろう
15日=クイズ100問答えてラリー

※時間=午後1時~4時/場所=フリーホールほか/対象=小学生~

ビッグサタデー さまざまなテクニック、戦術的なおもしろさ(チームワーク)—ゲームをとおして、スポーツのおもしろさを体験。

1~3月はバレーボール。トスをあげて、ごうかいにスパイク!!
※時間=午前10時30分~11時45分/場所=体育室/対象=小4~

高学年楽器体験コーナー

本物の楽器を手に、音を出してみます—気分はミュージシャン。いつも音(楽)がそばにある「たまり場」です。

ドラムセット、アフリカの太鼓、箏(こと)、金管楽器(ホルネット、トロンボーンなど)、ギター—日替わりでいろいろな楽器が登場します。

※時間=午前10時30分~11時、午後1時30分~2時、2時30分~3時、/場所=音楽ロビー/対象=小4~

小学生コーナー/造形実験室

「創造したい」という気持ちを大切に、心や頭のなかにあるものを形に—より自由に、より手の込んだ造形体験。

「小学生コーナー」「造形実験室」は、土曜日だけでなく、日曜日・祝日にも開催しています。1~3月は、「こども歳時記」お正月・節分・桃の節句、「やってみよう! つくってみよう! 建築と造形」がテーマ。

※時間=開館時間中(プログラムによって受け付け終了時間が異なります)/場所=造形スタジオ
※対象=「小学生コーナー」(プログラムによって対象学年が異なります)、「造形実験室」(小4~) ※「造形実験室」は1月3~7、11~13日はお休み

【小・中学生土曜日バス】発売中

より多くの小・中学生に、土曜日の高学年向けプログラムを利用してもらうと、土曜日だけ使える「バス」(夏・冬・春休み特別期間中の土曜日にも利用できます)を発売しています。

料金は2,500円で、1年間有効。くわしくは、アトリウム総合受付【☎03-3797-5666】でおたずねください。

あそびでホット

冬休みはこどもの城へ大集合!

おもちゃホット!
あそびホット!
おもちゃホット!
おもちゃホット!
おもちゃホット!
おもちゃホット!
おもちゃホット!
おもちゃホット!
おもちゃホット!
おもちゃホット!

2002~2003冬休み特別期間
12月21日~1月7日

こどもの城
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
TEL.03-3797-5666 FAX.03-3797-5676
www.kodomo-shiro.or.jp/

根っから、グリーンです。

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE **FUJITSU**

きれいな花も豊かな実りも、いい根っこから。環境に配慮したモノづくりは、いい部品から。

富士通は、部材の調達からグリーンです。環境に配慮した製品をお客さまにお届けするには、環境負荷の低い部品や材料を調達することが、とても重要になります。

富士通では、こうした部材を購入するため、独自のガイドライン「富士通グループ グリーン調達基準」を設け、主に化学物質の規制、リサイクルのしやすさ、省エネルギー対策などの基準値をクリアした部材の調達につとめています。

富士通のモノづくりは、厳しい基準をクリアした部材の調達から、はじまります。

すべてをグリーンに

グリーン調達から環境を考える話

富士通株式会社 環境本部
〒211-8588 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 TEL.044-754-3413
©富士通の環境広告シリーズは、こちらをご覧ください。 ad.fujitsu.com

02 Member of Sustainability Indexes
富士通、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ株式指標の環境分野で3年連続1位。

富士通は、2001年米国ダウ・ジョーンズ社によるサステナビリティ株式指標のコンピュータ部門で3年連続トップにランクされました。特に、環境への理念や経営姿勢はもろもろ環境会計の実施、グリーンプロダクトの開発、ゼロエミッション工場の実現など、環境分野での活動が高く評価されたためです。

<ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ株式指標> 世界34か国、2500社の中から抽出したトップ企業約300社を対象に、持続可能な企業の株主価値を1999年より毎年発表。環境、社会、経済の3分野から企業の持つ持続可能性(Sustainability)をはかり、将来にわたる企業が存続、発展可能かを判断する指標として注目されています。

こどもの城となかまたち

じょいんフェスティバル愛媛大会開く

大型児童館のボランティアが協力して「遊びのプログラム」を実施、交流深める

全国の大型児童館で活動しているボランティアが協力して、遊びのプログラムを企画・準備・実施することで交流を深め、それに参加した子どもや親にボランティアへの理解を高めてもらうという「じょいんフェスティバル 愛媛大会」が、11月2～4日に「えひめこどもの城」で開かれました。今年が2回目。全国14施設から、ボランティアとボランティア担当の職員、併せて75人が参加しました。

平成15年3月15・16日には、人形劇や絵本の読み語りなどを中心に交流を図る「じょいんフェスティバル 富山大会」を、富山県こどもみらい館で開催する予定です。

2日は結団式と翌日の準備。3日に、みんなで企画・準備した遊びのプログラムを実施。最終日には、交流プログラムとして参加した全員でモニュメント作り。紙部(とべ)焼きで、縦横5列、計25枚の陶板(1枚がA5判くらいの大きさ)に、参加

者のメッセージを書き込んだモニュメントを作りました。できあがったモニュメントは「えひめこどもの城」に飾られます。

遊びのプログラムは、広大な自然に恵まれた「えひめこどもの城」という環境を生かした、アクティブなものを作ろうと、夏休み前から相互に連絡を取り合っていた。それぞれに持ち寄ったアイデアをまとめて、「にんにん村へのパスポート」「にんにん村の忍者修行」「木の実 木のまま できちゃった?!」の3プログラムを考え、遊びに来た子どもたちに楽しんでもらうことになりました。各館で分担して、遊びに使う道具などを準備。それを持ち寄って、会場を飾りつけ、子どもたちが遊びに来るのを待ちました。

当日は、この時期の愛媛県地方にしては珍しく、肌寒い雨模様。屋外で実施予定していたものを室内に変更することになりましたが、700人を超える子どもたちに参加してもらうことができました。「パスポート」

は、木の実の的当て、つるで作った輪投げ、落ち葉のプールの中から目当ての木の実を探し出すゲームなど5か所の課題をクリアして、にんにん村へのパスポートを手に入れる、というゲーム。広い多目的ホールに会場を移し、コンパクトにレイアウト。それぞれのコーナーの様子を見ることができたので、一体感が強まってゲームも盛り上がりしました(写真)。

「忍者修行」では、クモの巣のように張りめぐらされたひも(各館のボランティアがそれぞれに趣向をこらして作った、木の実や空き缶で作った鳴子が吊るされている)の間を



「忍者修行」では、クモの巣のように張りめぐらされたひも(各館のボランティアがそれぞれに趣向をこらして作った、木の実や空き缶で作った鳴子が吊るされている)の間をくぐり抜ける修行、目隠してロープをつたって進む修行など、4つの修行を終えると忍者の認定証がもらえます。

「木の実 木のまま」は、小枝や木の実を使って自由にクラフトを楽しんでもらうコーナー。ボランティア全員が、それぞれのコーナーを交代で担当。遊びのボランティアとして「えひめこどもの城」に遊びに来た子どもたち、そして他館のボランティアと交流、楽しいひとときを過ごしました。

「視野が広がったように思います。人とのふれあいの大切さ、楽しさ、言葉かけの難しさなど、いろいろな経験ができました」と参加したボランティアのひとり。昨年に引き続き参加したボランティアは「ボランティア活動は特別なことではなく、自然なこと。同じことに向かって活動している仲間が全国にいて認識できたことで、ゆたたりとした気持ちで、気分が、自分の生活の

部としてとらえることができた」と、自分自身の変化をアンケートに記述しています。

施設の職員も「他館のボランティアと接し、その積極性に驚きました。どの館もボランティアに関する悩みを持っていること。また、その悩みには共通性があることが分かり安心した。互いに連絡を取り合って、ボランティア活動についての情報交換していこうと思います」。

別の施設職員は「人が集まり、同じ目的に向かって動き出すことから

生まれる「もの」の大きさを実感しました。ひとりではできなくても、みんなの力が集まれば、子どもたちにさまざまな遊びを仕掛けていけます。なによりも仲間の大切さを感じました。年齢も考え方も環境も違うけれど、その違いがおもしろさや新発見を生むのだと思います」と感想を寄せてくれました。

ボランティアのみなさんにとっても、施設の職員にとっても、3日間の活動は互いに大きな刺激になったようです。

1月22～24日にこどもの城児童厚生員等実技指導講習会 児童館における「子育てサークル支援」を考える

平成14年度第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会が、平成15年1月22～24日に「こどもの城」研修室で開催されます。テーマは「つくる 育む 子育てサークル～児童館の子育てサークル支援とは～」。対象は、児童厚生施設などに勤務する児童厚生員等の指導職員および行事などの企画担当職員。

少人数のグループに分かれて近郊の子育てサークルを訪問するフィールドワークを中心に、児童館の専門職として子育てサークルの支援の可能性、方向性を探ります。

定員は50人(定員になりしだい締め切り)。参加費＝35,000円(宿泊・食費:23,000円/研修費:12,000円)。

12月18日の午前11時から先着順に電話で受け付けします。お申し込み・お問い合わせは、企画研修部【☎03-3797-5675】へ。

たくさんの親子が「あそびのおもちゃ箱」を楽しむました

人形劇、影絵、紙芝居、パネルシアター、絵本——さまざまなボランティアグループが集まって公演

人形劇、影絵、紙芝居、絵本、パネルシアター、サンパ——定期的に活動しているボランティアグループが集まって、「あそびのおもちゃ箱」を11月23・24日に開きました。

それぞれのレパートリーのなかから

2003年もよろしくお祈りします。

今年1年、さまざまな形で「こどもの城」を支えてくださったみなさまに、紙面を借りて御礼申し上げます。来年もよろしくお祈りします。

なお、勝手ながら新年のご挨拶状を省かせていただきます。悪しからずご了承ください。

平成14年12月 (財)児童育成協会 こどもの城
※12月28日～1月2日は年末年始のため休館します。
※次号は平成15年2月15日発行です。

ら演目を選んで、交代で上演。会場には、軍手で作った「トコトコ人形」(指を二本入れて歩かせることができます)で遊ぶワークショップも行いました。クマ、オオカミ、ゾウなど、かわいらしい動物がいっぱい用意されていて、ボール紙で作った観覧車やすべり台などで遊びました。

スペシャルユニットの「おはなしスケッチ」では、新聞紙が帽子やほし、木、ほうきなどに次々に「変身」してストーリーを展開していくもの、フライパンなどの台所用品を使った人形劇など、ユニークなプログラムも登場しました。



お母さんにリフレッシュ時間をプレゼント。子育てに忙しいお母さんに、リフレッシュできる時間をプレゼントする「子育てママの悠遊タイム」。

11・18日、2月8・15日(土曜日) 午前11時～12時、午後1時30分～2時30分。開催日の2週間前から保育窓口または電話で受け付け(当日の申し込み可)。お申し込み・お問い合わせは保育研究開発部【☎03-3797-5669】へ。

「0.1.2歳児の心とからだ」テーマに子育て支援講習会

2月14・15日

少子・高齢化がすすむなかで、「子育て支援」が大きな課題となっています。「こどもの城」では、児童館や子育て支援センターなどの職員を対象に、第2回子育て支援講習会「最新の小児保健の基礎と実際～心とからだの健康 0.1.2歳児」を平成15年2月14・15日(2日間)開催。

0～2歳児の子どもの発達をはじめ、子育てをしていくなかでいろいろな悩みに直面したときに「子どもの発達」をきちんと理解して対応することが必要になります。「赤

ちゃんサロン」「季節の離乳食講習会」など、さまざまな形で子育て支援プログラムを実施している「こどもの城」の専門スタッフ(小児科医、臨床心理士、管理栄養士、看護師)が、その経験をふまえて実際の話題を提供します。

また、基本的な生活習慣の問題や

5か月から1歳くらいまでの赤ちゃんと保護者のための「季節の離乳食」講習会が、平成15年1月30日と2月20日(午後1時30分～2時30分)に開かれます。子どもの発達にあわせた離乳食の考え方や与え方を食材を実際に見ながら指導します。定員は10組。受講料2,000円。先着順で受け付け可。詳しくは小児保健部【☎03-3797-5667】へ。

よちよちクラブ

親子関係の援助にどのようにかかわっていけばよいかなど、相互に情報交換をする場も設けてあります。受講料15,000円。定員40人。

日本のふるさと弦楽器 ワークショップ & デモンストレーションライブ

“かんから三線”“ごったん”などの魅力再発見

日本の音楽シリーズ(2)「日本のふるさと弦楽器 ワークショップ&デモンストレーションライブ」の公演が、平成15年1月25・26日に青山山形劇場で行われます。演奏を聞く、聞かせる——という、通常のコンサートと一味違う構成のステージ。演奏者と観客(参加者)がコミュニケーションしながら、演奏だけでなくワークショップやトークを織りまぜて、日本の音楽のおもしろさをさまざまな角度から体験。

出演は、金城実(三線・かんから三線)、直川礼緒(ムックリ・ユウラシアの口琴)、東音田島佳子(長唄三味線)＋こどもの城三味線グループ、本條秀太郎(三味線・胡弓・ごったん)のみなさん。

公演の前には、出演者によるワークショップ(定員制)も行われ、日本の音楽をさらに身近に体験するこ

お母さんにリフレッシュ時間をプレゼント

子育てに忙しいお母さんに、リフレッシュできる時間をプレゼントする「子育てママの悠遊タイム」。

先着順に受け付けています。お申し込み・お問い合わせは、小児保健部【☎03-3797-5667】へ。

医学・栄養・体育・心理の側面から 3月に「小児肥満のための指導者講習会」

子どもの肥満が増加し、生活習慣病の予防という観点から、保育所・幼稚園や学校での対策が改めて重要視されています。「こどもの城」では、1985年の開館以来、太りすぎの子どものための健康教室を行ってきました。現在も、クリニックにおける

親子三代健康づくり 2月に雪遊び楽しむ「スノーキャンプ」

家族で体を動かして野外で遊ぶ体験をとおして、家族のきずなを深めたり、家族同士の交流をはかる「親子三代健康づくり」。今年も、四季それぞれの自然の中で川遊びやキャンプを行い、たくさんの家族がふれあいを楽しんできました。

本格的な冬を迎える2月には、雪遊びを中心としたプログラムを行います。雪上ゲーム、そり遊び、もちつき、雪像作りなど、おもいっきり雪と遊ぶ「スノーキャンプ」。白銀の世界を家族で楽しみます。

1日目が「運動処方～実技紹介～」

1月9日から受け付け

2日(2泊3日)の日程で行います。対象は、4歳以上の子どもとその家族(親・祖父母)。定員は15家族。参加費は、大人(中学生以上)41,000円、子ども32,000円。往復の交通費(上越新幹線利用)、宿泊費、3月1日の朝・夕食、2日の朝食、もちつきなどのプログラム費は参加費に含まれています。部屋割りは家族単位です。受け付けは、平成15年1月9日正午から電話で先着順に行います(1回線につき1家族受け付け)。お申し込み・お問い合わせ、体育事業部【☎03-3797-5660】(担当=大関)へ。

こどもの城体育事業部長)と「太りすぎ改善のための食事・栄養指導」(坂本元子と洋女子大学教授)、2日目が「肥満の判定と指導」(村田光範と洋女子大学教授)と「心理的理解と対応」(井口由子こどもの城小児保健部長=臨床心理士)。

受講料20,000円。定員50人。先着順に受け付けています。お申し込み・お問い合わせは、小児保健部【☎03-3797-5667】へ。

医学・栄養指導に併せて、体育室・プールでの運動指導を行い成果をあげています。

この経験をふまえて、肥満指導に関心のある人(栄養士、養護教諭、保育士、保健師、医師、体育指導員など)を対象に「小児肥満のための指導者講習会」を平成15年3月14・15日に開催します。

1日目が「運動処方～実技紹介～」

「運動指導(レクチャー)」(羽崎泰男

抽選になります。

宛て先は、〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1 こどもの城・企画研修部「日本のふるさと弦楽器・ワークショップ」係。

「デモンストレーションライブ」は劇場事業本部【☎03-3797-5678】、「ワークショップ」は企画研修部【☎03-3797-5675】へお問い合わせください。

締切りは12月31日(当日消印有効)。1枚につき2人まで。応募多数の場合は

お申し込み方法

往復はがきに、住所(郵便番号)、氏名、年齢、職業または学校名、電話番号を記入のうえ、(ア)～(エ)の4つのワークショップのなかから第一希望、第二希望を選んで下記宛にお送りください(お手数ですが、返信面に宛て先をご記入ください)。

締切りは12月31日(当日消印有効)。1枚につき2人まで。応募多数の場合は

お申し込み方法

往復はがきに、住所(郵便番号)、氏名、年齢、職業または学校名、電話番号を記入のうえ、(ア)～(エ)の4つのワークショップのなかから第一希望、第二希望を選んで下記宛にお送りください(お手数ですが、返信面に宛て先をご記入ください)。

締切りは12月31日(当日消印有効)。1枚につき2人まで。応募多数の場合は

お申し込み方法

往復はがきに、住所(郵便番号)、氏名、年齢、職業または学校名、電話番号を記入のうえ、(ア)～(エ)の4つのワークショップのなかから第一希望、第二希望を選んで下記宛にお送りください(お手数ですが、返信面に宛て先をご記入ください)。

締切りは12月31日(当日消印有効)。1枚につき2人まで。応募多数の場合は

小さな家庭図書館「よみみち文庫」

を営みながら、子どもたちに絵本の読み語りを行っているクルクル。毎日のように遊びに来るトコトコは、妹が生まれたばかり。よいお姉さんになろう、とがんばっているのですが、心の底には私

とびこ絵本Ⅱ～天使と人魚がトコトコと～

1月2～8日 青山山形劇場

こどもの城・キリン・ファミリーオハレタ「とびこ絵本Ⅱ～天使と人魚がトコトコと～」が、青山山形劇場の新春第1弾公演として、平成15年1月2～8日に上演されます。

生き生きとした舞台上に接して、子どもたちに豊かな心をはぐくんでもらおうと、「こどもの城」とキリン福祉財団が共催して1989年から行っているシリーズ。客席と舞台の間の距離をなくし、観客も一緒に歌を歌い、ステージに参加したりしながら展開します。平成9年度からは中央児童福祉審議会の推薦文化財に連続して選定されています。

公演日時は、平成15年1月2～8日(午前11時と午後2時30分。2日と8日は午後の部のみ)。料金は2,800円(自由席・定員制。3歳以上均一料金)。

お問い合わせは、こどもの城劇場事業本部【☎03-3797-5678】へ。

■青山劇場 ☎03-3797-5678 http://www.aoyama.org

青山劇場

- 25th ANNIVERSARY 渡辺真知子～大切な順番～
▽12月15・16日▽6,500円
(問) 03-3498-9999
- 嵐本 部
▽12月19日▽6,000円
(問) 03-5778-4855
- 占内東子
▽12月20日▽5,500円
(問) 03-5436-9600
- 松居隆子クリスマス・コンサート
▽12月21日▽S席=7,000円、A席=6,500円
(問) 03-3479-2245
- アニーククリスマスコンサート～サンタクロースの宝物～
▽12月22・23日▽S席=5,000円、A席=

青山山形劇場

- 「ア・ラ・カルト」～役者と音楽家のいるレストラン～
▽12月6～26日▽6,000円
(問) 03-3797-5678
- 第15回こどもの城・キリン・ファミリーオハレタ「とびこ絵本Ⅱ」
▽2003年1月2～8日▽2,800円
(問) 03-3797-5678
- おひさまおはなしコンサート
▽1月12日▽応募制
(問) 03-3797-5675
- 30-DELUX「MAYA-K(まやく)」
▽1月16日～21日▽3,800円(当日4,300円)
(問) 03-3916-9016
- GISELLE・5「お察しします」
▽1月22～24日▽3,800円(当日4,000円)
(問) 03-5465-1030



- 日本のふるさと弦楽器 デモンストレーションライブ
▽1月25・26日▽3,000円(当日3,500円、高校生以下2,000円(前売りのみ))
(問) 03-3797-5678
- Village Produce vol.2 1989
▽2月6～16日▽3,800円
(問) 03-5348-2870